

事務事業評価シート

(H.30)No.	4040	(H.29)No.	4040
-----------	------	-----------	------

事務事業名	耐震性貯水槽設置事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
消防本部	消防救助室	中嶋 啓之	

会計区分	事業コード	454901
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 消防費	耐震性貯水槽設置事業	
項 消防費	(小事業名)	
目 消防施設費	耐震性貯水槽設置事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	3	安全で安心なまちづくり
	施 策	3	消防・救急
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
耐震性貯水槽の適正配置で、消防水利の多様化を推進し、震災時における確実な水利確保と水利不便地の解消を図ります。
事業内容
耐震性貯水槽を消防水利整備計画に基づき設置します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	【緊急防災・減災事業】 耐震性貯水槽整備 (40m ² 型×2基) ・黒田地内 7,201,440円 ・薦生地内 8,986,680円		—

	H.31年度(事業計画)		H.32年度(事業計画)		H.33年度(事業計画)	
	【緊急防災・減災事業】 耐震性貯水槽整備 (40m ² 型×2基)	【緊急防災・減災事業】 耐震性貯水槽整備 (40m ² 型×1基)		【消防防災施設整備費補助金(国庫補助) 耐震性貯水槽整備 (40m ² 型×2基)		

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		16,189千円			16,000千円	10,000千円	16,000千円
内訳 (千円)	国・県支出金				0		5,386
	地方債		16,100		16,000	10,000	10,600
	その他()						
	一般財源	0	89	0	0	0	0
人工数	職員		0.20人	0.00人	0.20人	0.10人	0.20人
	臨時職員等		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	1,480千円	0千円	0千円	1,480千円	740千円	1,480千円
①+②総事業費	0千円	17,669千円	0千円	0千円	17,480千円	10,740千円	17,480千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
震災時における確実な水利確保と水利不便地の解消を図りました。 今後の課題として、水利不便地における耐震性貯水槽の用地確保と施工方法を検討し、消防防災力の強化に向けて整備を進めます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震等に備え、水利不便地の解消や消火栓に偏らない水利の多様化を図るため、耐震性貯水槽の整備に取り組みます。 財政状況が厳しい中、国の補助事業等の活用など、引き続き、財源の確保に努めます。 災害に迅速・的確に対応するため、地域と連携し用地の確保に努め、継続して耐震性貯水槽を整備していく必要があります。 	